

Ⅰ 日常の学習状況・課題について

(1) 日常の学習状況

- ・安全面（準備運動、場の設定等）に留意しながら学習を行っている。
- ・授業ルールや時間を守って行動する生徒が増えてきた。
- ・技能習得に向けて、自己や仲間の動きを考え練習する場面が増えてきた。
- ・体育委員を中心に周りが協力して主体的に活動できる場面が見られるようになってきた。

(2) 学習の課題について

① 生徒の課題

- ・話を聞く力や自分の考えを伝える力が十分に身に付いていない。
- ・学習カードやワークシート等への記入や記述内容、提出状況に差がある。

② 指導面

- ・生徒の運動時間、運動量を多く確保する。
- ・毎時間ペアやグループでの学習を取り入れて、学び合いの場を増やす。
- ・授業の目標を明確にし、活動の振り返りや自己評価を行わせる場を設定する。

2 改善の計画

- (1) 授業の見通しをもたせ、授業の流れ、ゴールを明確にする。
- (2) 学習カードを活用し、自己・他者・グループの課題を見付け、解決する授業を展開する。
- (3) ホワイトボードを使い、本時の流れ・めあて等を視覚的に確認・意識させる。
- (4) 毎時、基礎的な技能を反復して行い、技能の定着・向上を図る。
- (5) グループ活動を通して、互いの活動や動きを見て、他者の運動の特性や課題の解決のために必要な活動を考えさせ、取り組ませる。
- (6) 丁寧で端的な説明や視覚的理解を促進する示範を増やす。
- (7) 準備や片付けは具体的な指示を出し、生徒が率先して動く体制をつくる。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) 積極的に行動できる生徒や仲間のために行動できる生徒、さらに、良い方法を考え伝えることができる生徒などを取り上げてクラス全体に伝える。
- (2) 授業内で安全面についての指導を明確にし、生徒自らが安全について考え、行動できるようにする。
- (3) 成功や技能向上によって、自らの喜びと感じられるように、些細なことを見逃さないようにする。
- (4) 他人の喜びを自分の喜びのように感じられるようなチームづくりを心掛ける。

4 プランの評価方法

- ・授業アンケートを行い、変容を見る。